



権現山方向から南方の鳥瞰 正面の山に金刀比羅神社 手前は震災記念館

丹後峰山の  
こんぴらさん

### 峯山藩四百年の御恩

本年は峯山藩初代京極高通公が元和八年（一六二二）、権現山麓に陣屋を構えて立藩してから四百年という年に当たります。

関ヶ原の戦いで降徳川家康より丹後国を与えられ、丹後国主となった京極高知公は三人の子に宮津、田辺（舞鶴）、峯山を分け与えます。宮津宗家は三代で改易、田辺は三代で但馬国豊岡へ転封となり、峯山だけが明治維新まで続くこととなりました。また宮津の七万八千石、田辺の三万五千石に比して峯山は一万石という小藩でしたが、六代高久公、七代高備公、十代高富公が幕府の若年寄（老中に次ぐ要職）を務める雄藩でもありました。

一八三一年に絹屋佐平治が丹後縮緬を織り出してからは一貫して奨励策を敷き、丹後一円に広がり全国屈指の産業に成長する基は峯山藩京極家の藩政によるものです。

京極家四百年の歴史は峯山の歴史でもあります。この佳節に先人の遺徳を偲び顕彰することは大きな意義があります。

7月17日  
8月21日  
9月18日  
こまねこまつり  
10月16日  
11月20日  
紅葉祭  
12月18日  
終い市  
10:00~15:00

出展者募集  
展覧中!

ゆう~つくり  
のお~んぴり  
と開催してまいります

こんぴら  
手づくり市

第3日曜日

konte1.jimdo.com

七月九日(土)午後八時  
金刀比羅神社夏季大祭  
峰山花火大会  
主催 金刀比羅神社夏季大祭  
花火実行委員会  
雨天の場合は、七月二十九日の水無月祭で実施します

7月9日夏季大祭の露店出店は中止となりました。

七月二十九日  
水無月祭

「茅の輪くぐり」二十八日より  
「人形」受付・祓所参拝  
午後六時より九時まで

「夜の市」開催予定  
水無月会奉仕

丹後の人と猫のつながり  
を大切にするまつり

mineyama  
komaneke  
festival  
こまねこまつり

コロナ禍からの復帰を目指し  
9月頃に開催計画中です。  
密集しすぎないように工夫をこらして  
皆様の励みになるまつりにしたいと考えています。

- こまねこ手づくり市
- こまねこウォーク
- ウィキペディアニヤウン
- まちなかネコアート展
- ねこねこよろず相談会 etc

主催 こまねこまつり実行委員会  
http://komanekefoc.com

厳肅で清楚な  
結婚式 御祈禱

金刀比羅神社  
〒627-0003 宮司 脇阪卓爾  
京丹後市峰山町東二一八五一  
電話 〇七七二一八二〇二五  
FAX 〇七七二一八二五九九三

mail info@konpirasan.com  
http://www.konpirasan.com

十月九日(日)  
例祭 神輿渡御祭  
神輿輿丁募集

# 嶺山から峰山へ

## 峰山の街づくり

峰山の街は江戸の初めに京極高通公が権現山麓に陣屋を構え、その周囲に家臣衆の家々が建てられて出来た家中町がはじまりです。今の吉原を中心に小西川以北あたりだけの街だったのが、江戸後期には以南にも新町がつくられて町域が拡大していきます。

## 権現山と金峰さん

権現山は吉原山ともよばれ、南北朝時代の一三八八年に一色詮範氏が丹後北部の要衝として山頂に山城を設け、戦国時代の一五八二年に細川藤孝氏が一色氏を滅ぼし、次男の興元氏が入城して本丸、二ノ丸、三ノ丸を整備しましたが、江戸になり一六二二年に京極氏が入封して城郭が廃されて以降、再建されることはありませんでした。しかし、古くからあったと伝わる吉原山祇社と蔵王権現は城が失われて後も本丸跡に祀られ、明治以降は金峰神社と称して峰山鎮護の神として崇められてきました。

昭和二年の北丹後地震罹災後は現在の吉原の地に本社を遷座しましたが、山上本丸跡には今も奥社

が祀られています。

一色氏の築城以前から山祇神が祀られていて後に蔵王権現が併せ祀られたようですが、吉原山は吉原山祇神から、権現山は蔵王権現からくる呼称です。蔵王権現は吉野の金峰山寺に由来することから金峰神社とされました。

## 金峰さんと峰山

細川時代には「嶺山」が使われていたようですが、江戸になって京極家は「峯山」を用いて立藩し、今の峰山町へと繋がっています。この「峯山」は「金峰山」に由来する名称でもあり、金峰神社は峰山にとって大変意義深い重要な御社なのです。



金峰神社 峰山町吉原鎮座



金峰神社奥社 権現山上本丸跡に鎮座



権現山麓の陣屋跡地「峰山城趾」の石碑が建つ



『峯山日記』に載る「御廊内御給図」(家中町の図) 慶応2年



山上からの眺望 日本海を望む



二の丸跡の広大な公園



権現山全容 歴史上丹後統治の要衝だった

**神恩と善政の四〇〇年**  
権現山に金峰さんを頂いて藩政を敷き、四代京極高之公の治める享保五年(一七二〇)に丹後縮緬が織り出されてから、七代高備公の文化八年(一八一)に町域を越えた向かいの山に金毘羅権現を迎え、以後は北から金峰さんを頂いた京極家、南からは金毘羅さんに挟まれる形で見守られ続け、縮緬産業の街として大きく栄えることとなりました。

峯山は僅か一万石の小藩でした。そこで米作農業の石高だけでなく他の産業を求め、以前からあった絹織物産業が縮緬の誕生で大きく発展して藩政を支えます。幕府の国策を超えて独自の地場産業の創出に成功したのです。六代高久公は峯山ではじめて若年寄に任せられますが、幕府の要職に就くには国元の地盤がしっかり支える必要もあってでしょう。

縮緬奨励策をとって善政を敷き、天災や飢饉の際、近隣他藩でも一揆騒乱が頻発したにもかかわらず、峯山では一度も起きませんでした。苦難に遭っても共に乗り越える領民との良好な関係が、明治維新まで治世が続いた大きな要因でした。

## 奉納御礼



**吹貫飾り御幣**  
吹貫飾り御幣 株式会社ヤマモト 様  
神輿行列「吹貫」最頂部の金属製飾り御幣をご奉納頂きました。

## 弔慰

**高田 一 殿**(九十一歳)  
金刀比羅神社 元責任役員は十一月二十七日逝去されました。昭和五十四年責任役員総代にご就任後、平成十七年金刀比羅会会長を兼任、二百年祭に尽くされるなど篤い敬神家で、平成二十四年に退任されるまで三十三年間にわたってつとめられ、以後も顧問としてご尽力いただきました。

**中村 雅 殿**(六十八歳)  
金刀比羅神社 総代は十二月十八日逝去されました。令和三年五月にご就任され、ご尽力いただきました。

茲にご生前のご功労を謝し、謹んでお悔やみ申し上げます。

## 総代就任のお知らせ

中野 正 五 殿  
総代を委嘱します。

令和四年六月一日

## 金刀比羅神社 役員名簿

責任役員	井上 敏 (代表総代)
錦織 隆	松本研二 (総代兼任)
井上五朗	森一彦 (総代兼任)
総代	田中良剛 増田 晋
代	寺田義弘 岸本博一
顧問	寺田浩章 古橋直明
参事	中野正五 古橋直明
神社委員	稲葉悦男 松崎 修
山本英雄	岸田利道
地区評議員	元町区 谷口平和 山下重雄
一 区	中野正五 岡崎一芳
二 区	井上敏 岡中修一郎 徳田隆男
三 区	田中孝一 池田芳昭
四 区	寺田昭夫 吉見英次
五 区	近藤真一 寺田泰政
六 区	田村浩章 木崎祥祐
七 区	高田茂吉 山本英雄
八 区	由利敏雄 木村成信
九 区	平井真二 寺田義明
十 区	富田圭介 中川芳隆
十一 区	関雅継 赤岩康利
十二 区	谷口隆志 三木邦彦
十三 区	戸石三吉 松下讓太郎
十四 区	沖 一 小野甚一 中村健之
十五 区	巽 昭 岸田利道 中井 望
十六 区	清水 転 吉田伴作 藤本 勇
十七 区	中山 一 山本喜寿志 廣野勇夫
十八 区	寺田義弘 山本一之 西村郁生 由良隆彦